



武蔵村山市立第一小学校 学校だより

令和5年5月31日



こだわる5つの生活習慣

校長 押本 純樹

「服装の乱れは、心の乱れ」の言葉から昭和の臭いを感じないわけではありません。中学校や高校の理解しがたい校則が昨今話題に取り上げられ、生徒の自主的な判断の下、見直しが図られる動きも見られます。それでも服装は、自己表現の一つの場であり、着こなし具合には、その人なりの人柄が見て取れます。

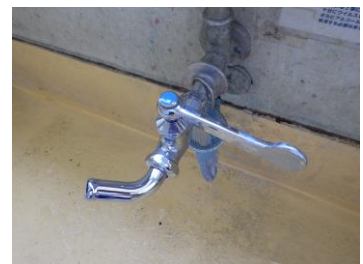
私が本校に着任したとき、気になったのが子供たちの校帽でした。前任校でも交通安全の視点から黄色い帽子を校帽として着用させていましたが、違いを感じました。まずはかぶっていない子が目につき、かぶっていてもマジックで何かを描き込んでいる高学年が見受けられました。学区も広く、高齢者の運転ミスによる交通事故の話を目にすることもあり、過去の経緯も踏まえ、引き続き着用の判断をしています。

そこで、規則として着用させるなら、もっときちんと着用させるべきと、学校全体で指導に取り組みました。その結果、今、ほとんどの子が校帽をかぶって登校しています。オシャレ感覚を優先してか、かぶっていなかった子が6年生になり、下級生のお手本となる立場を意識する姿が見られます。ひいき目かもしれませんが、学校全体が以前より落ち着いているように感じます。その変容を目の当たりにすると、「服装の乱れは、心の乱れ」も間違っていないようです。集団生活の場では、みんなが気持ちよく生活していくには、目的をもった何らかの約束事がやはり必要なのでしょう。

そして、この考えの下、今年度はもう一步踏み出して、「こだわる5つの生活習慣」を学校経営方針（HP掲載）に挙げました。

- (1) **校帽**…上記のとおりで、理由は、安全第一です。
- (2) **あいさつ**…特に「おはようございます」で、その日の元気を確認しています。
- (3) **靴のかかと**…主に上履きのことですが、かかとを踏んで履くのは、やめましょう。きちんと履くことで、ゆるむ気持ちを抑えます。
- (4) **イスを引く**…授業に取り組む姿勢を習慣化させる手段です。イスを引いて、ちゃんと座って授業に臨みましょう。
- (5) **水道の蛇口**…「上向きを下に向けての思いやり」ということで、上に向けた蛇口は、次の人のことを考えて、使用後は下に向けましょう。

この5点は、誰一人取り残さない学校づくりのための視点でもあります。学校公開等の際などに気にかけて、様子を見ていただけたらと思っています。また、普段からの御家庭での声かけもよろしくお願いいたします。



横向きも直しましょう